

# 2016年度決算説明資料

2017年4月27日  
川崎重工業株式会社

# 目次

## I . 2016年度連結決算の概要

◇ 2016年度決算実績 サマリー	3
◇ 2016年度決算実績 セグメント別	4
◇ 前期比損益増減要因分析	5
◇ 前期比損益計算書の概要	6
◇ セグメント別決算実績	
船舶海洋	7
車両	8
航空宇宙	9
ガスタービン・機械	10
プラント・環境	11
モーターサイクル&エンジン	12
精密機械	13
◇ 貸借対照表の概要	14
◇ キャッシュ・フローの概要	15

## II . 2017年度業績見通し

◇ 連結受注高・売上高・利益見通し	16
◇ セグメント別通期業績見通し	17
◇ セグメント別税前ROIC等の推移	18
◇ 研究開発費・設備投資・期末従業員数	19
◇ <参考資料> ヒストリカル・データ	20
ROICによるランク付けの推移	21

# 2016年度決算実績 サマリー

(億円)

	2015年度 実績	2016年度		増減	
		1月公表※	実績	前期比	1月公表比
受注高	16,936	13,200	13,487	▲3,449	+287
売上高	15,410	15,200	15,188	▲222	▲12
営業利益	959	400	459	▲500	+59
経常利益	932	330	366	▲565	+36
親会社株主に帰属する 当期純利益	460	210	262	▲198	+52
税前ROIC	9.4%	4.7%	5.0%	▲4.4%	+0.3%
ROE	10.6%	4.9%	6.0%	▲4.6%	+1.1%

## 前期比

### 【受注高】

前期に防衛省向け固定翼哨戒機の一括受注があった航空宇宙の減少や、新造船需要の低迷による船舶海洋の減少等により全体でも減少

### 【売上高】

円高の影響や、前期の建設機械の譲渡による減収を、プラント・環境や精密機械の増収等で補い、全体としては前期並み

### 【利益】

・営業利益は、円高の影響や船舶海洋、航空宇宙の悪化等により減益

・営業利益の減少に伴い、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は減益

売上加重 平均レート	ドル (¥/\$)	118.99	108.98
	ユーロ (¥/EUR)	132.43	

(参考)2016年度決算実績におけるNET外貨売上高 (億外貨)

ドル	ユーロ
24.4	3.1

※1月公表の前提レート：110円/\$ 120円/EUR

# 2016年度決算実績 セグメント別

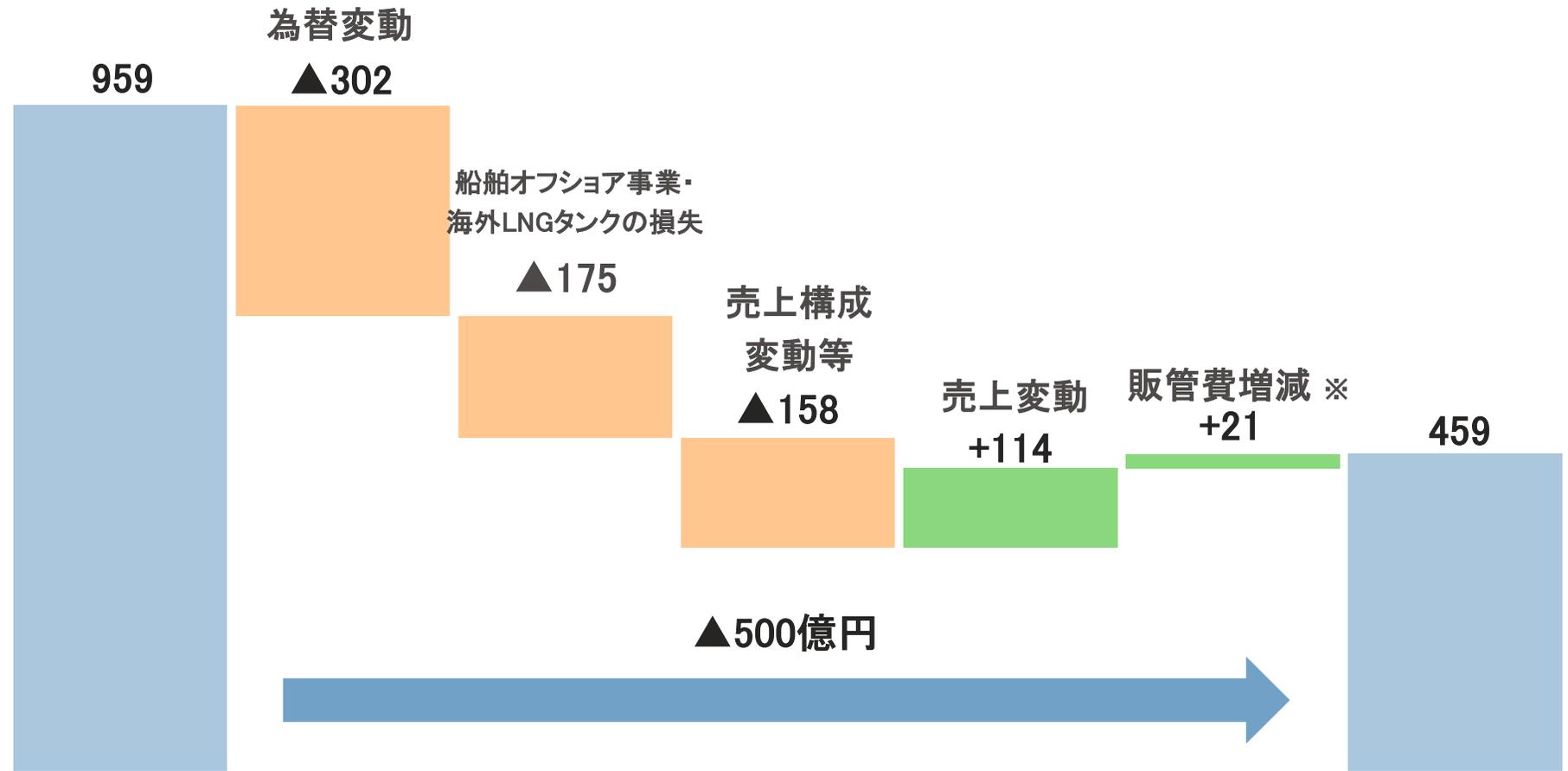
(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年度	2016年度	増減	2015年度	2016年度	増減	2015年度	2016年度	増減
船舶海洋	983	369	▲614	948	1,032	+83	▲79	▲214	▲134
車 両	1,321	1,585	+264	1,466	1,371	▲94	92	34	▲58
航空宇宙	4,642	2,370	▲2,272	3,518	3,299	▲219	456	250	▲206
ガスタービン・機械	2,889	2,603	▲285	2,364	2,419	+55	169	152	▲16
プラント・環境	1,387	950	▲437	1,356	1,608	+252	85	26	▲59
モーターサイクル&エンジン	3,335	3,130	▲205	3,335	3,130	▲205	157	117	▲40
精密機械	1,331	1,668	+336	1,331	1,552	+221	85	131	+45
そ の 他	1,044	809	▲234	1,088	774	▲314	28	31	+2
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲37	▲70	▲33
合 計	16,936	13,487	▲3,449	15,410	15,188	▲222	959	459	▲500

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

# 前期比損益増減要因分析

【営業利益】 前期比 ▲ 500 億円 (2015年度 959 億円 ⇒ 2016年度 459 億円)



2015年度

※ ブラジルの現地合弁会社向け売掛債権への貸倒引当金▲46億円は船舶オフショア事業の損失に含む

2016年度

# 前期比損益計算書の概要

	前期比	2015年度	2016年度
<b>【営業損益】</b>	▲ 500 億円	( 959 億円 ⇒	459 億円 )
・売上高	▲ 222 億円	( 15,410 億円 ⇒	15,188 億円 )
・売上原価	+ 252 億円	( 12,536 億円 ⇒	12,789 億円 )
・販売費および一般管理費	+ 25 億円	( 1,914 億円 ⇒	1,939 億円 )
うち給料および手当	▲ 12 億円	( 526 億円 ⇒	514 億円 )
うち研究開発費	+ 0 億円	( 436 億円 ⇒	436 億円 )
<b>【営業外損益】</b>	▲ 65 億円	( ▲ 27 億円 ⇒	▲ 92 億円 )
・金融収支（受取配当金を含む）	+ 7 億円	( ▲ 24 億円 ⇒	▲ 17 億円 )
・持分法による投資利益	+ 26 億円	( 28 億円 ⇒	55 億円 )
・為替差損益	▲ 11 億円	( ▲ 65 億円 ⇒	▲ 77 億円 )
・その他	▲ 87 億円	( 33 億円 ⇒	▲ 53 億円 )
<b>【特別損益】</b>	+ 205 億円	( ▲ 183 億円 ⇒	22 億円 )
・固定資産売却益	+ 22 億円	( - 億円 ⇒	22 億円 )
・事業譲渡益 ※1	▲ 9 億円	( 9 億円 ⇒	- 億円 )
・海外事業関連損失 ※2	+ 192 億円	( ▲ 192 億円 ⇒	- 億円 )

※1 連結子会社である株式会社KCMの全株式の譲渡および株式会社KGMJの事業譲渡によるもの

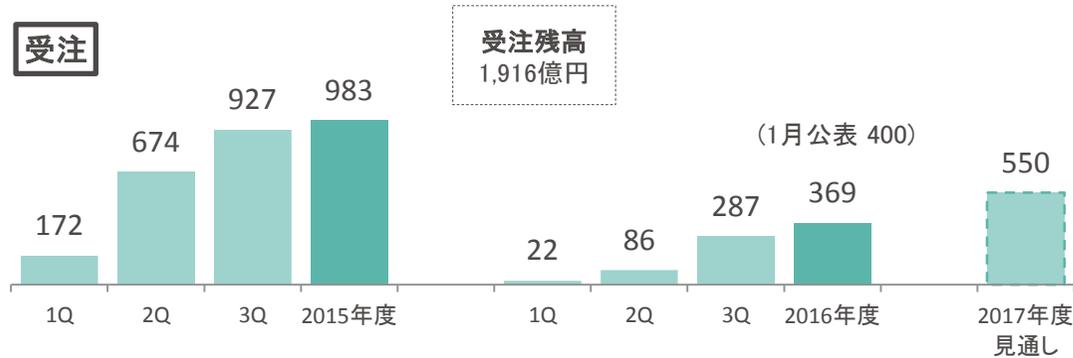
※2 当社が30%出資しているブラジルの造船合弁会社Enseadaに対する売掛債権の回収可能性やたな卸資産の資産性等について、関係する会計基準等に照らし、必要とされる再評価手続きを実施したうえで所要の経理処理を行ったもの

# 船舶海洋

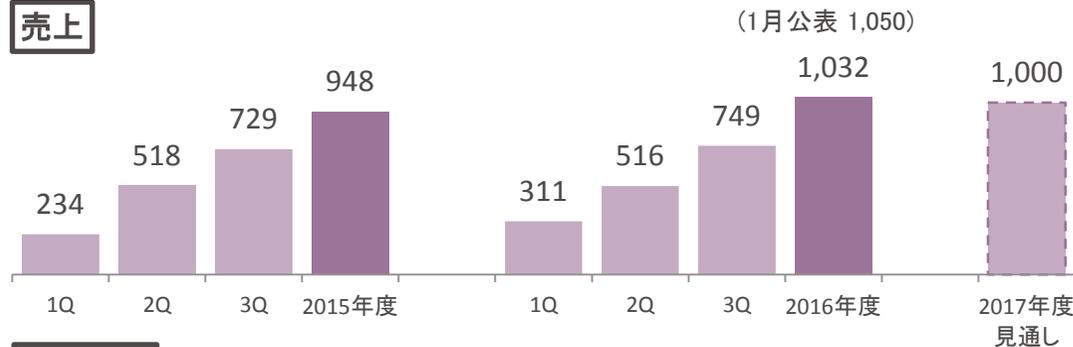
主要製品：LNG船、LPG船、オフショア船、ばら積み運搬船、潜水艦

(億円/各期の数値は累計)

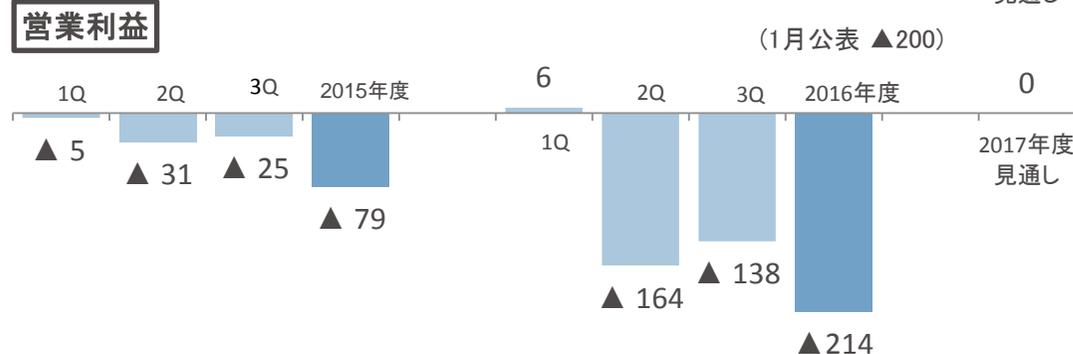
## 受注



## 売上



## 営業利益



## 2016年度実績

(前期比)

- 受注** 新造船需要の低迷により減少
- 売上** 防衛省向け艦船の建造・修理に伴う工事量増加等により増収
- 営業利益** ブラジルの現地合弁会社向け売掛債権への貸倒引当金の追加計上、円高およびコスト増に伴う受注工事損失引当金の繰入れ増等により悪化

## 2017年度見通し

(前期比)

- 受注** 液化ガス運搬船の受注等により増加
- 売上** 液化ガス運搬船の建造等により前期並み
- 営業利益** オフショア事業における売掛債権への貸倒引当金の追加計上や、受注工事損失引当金の繰入れがあった前期に比べ改善

<新造船の受注・売上隻数>

(隻)

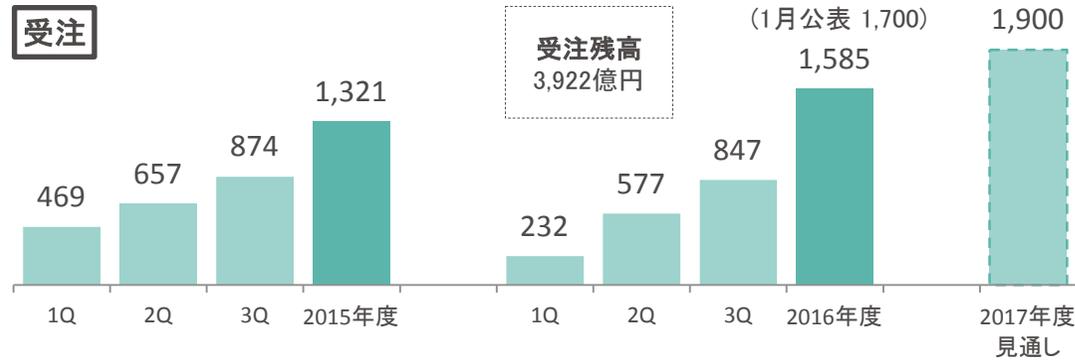
	受注		売上			
	2015年度	2016年度	2015年度		2016年度	
			完工	進行基準	完工	進行基準
LNG船	2			9	1	8
小型LNG船						
LPG船	4		1	4	1	6
オフショア船						1
ばら積み運搬船	1		3	1		1
潜水艦		1		2	1	2
深海救難艇				1		1
合計	7	1	4	17	3	19

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	▲ 38.4%	▲ 23.4%	0.5%

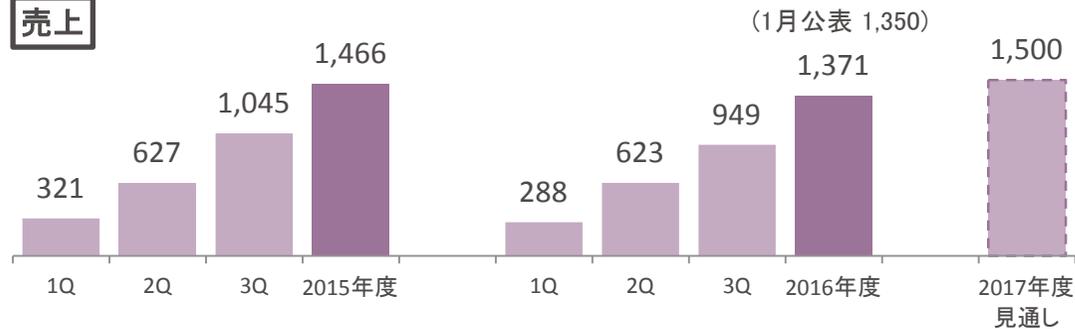
# 車 両

主要製品： 各種電車（新幹線含む）、機関車、客車、台車、ギガセル（二次電池）（億円/各期の数値は累計）

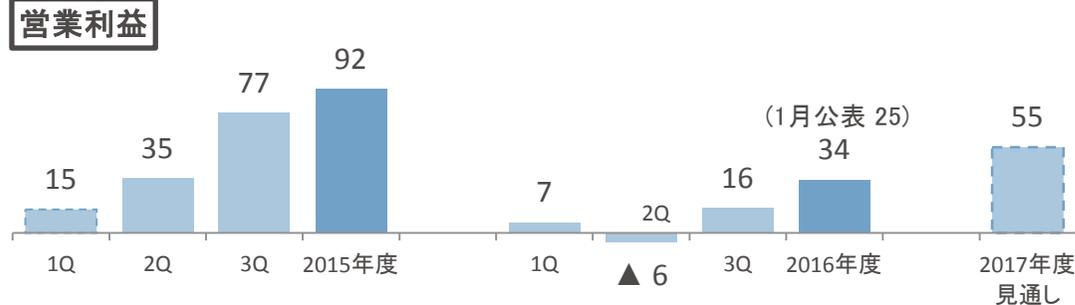
## 受注



## 売上



## 営業利益



## 2016年度実績

(前期比)

- 受注** 海外向けが減少したものの、東京都交通局向けリニア式地下鉄車両を受注したこと等により増加
- 売上** 台湾やシンガポールなどアジア向けが減少したこと等により減収
- 営業利益** 減収に伴う減益や高採算案件の減少、コスト増等により減益

## 2017年度見通し

(前期比)

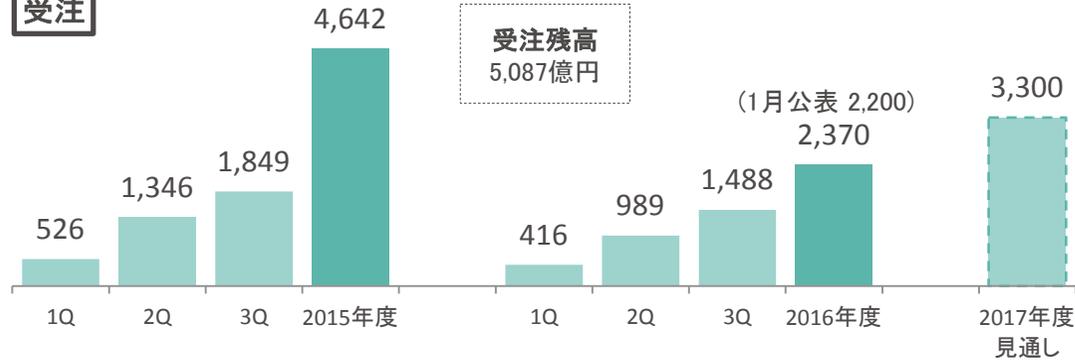
- 受注** 海外向けの増加により増加
- 売上** 国内向けおよび海外向けの増加により増収
- 営業利益** 増収により増益

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	11.7%	3.0%	6.9%

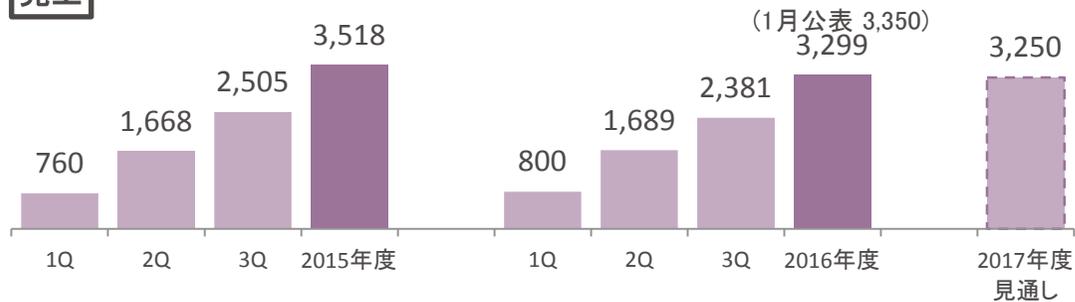
# 航空宇宙

主要製品： 防衛航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器 (億円/各期の数値は累計)

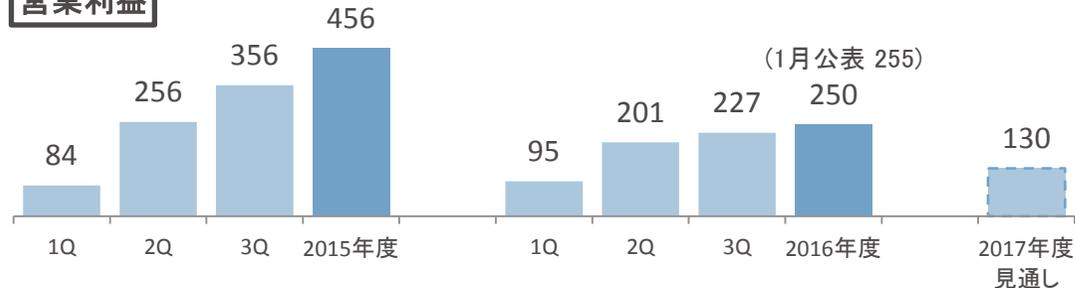
## 受注



## 売上



## 営業利益



## 2016年度実績

(前期比)

- 受注** 防衛省向け固定翼哨戒機の一括受注があった前期に比べ減少
- 売上** 防衛省向けが増加したものの、円高の影響等により減収
- 営業利益** 円高の影響や民間航空機向け分担製造品の収益性低下等により減益

## 2017年度見通し

(前期比)

- 受注** 防衛省向けの増加により増加
- 売上** 防衛省向けは増加するものの、民間航空機向け分担製造品の減少により前期並み
- 営業利益** 民間航空機向け分担製造品の減収により減益

### <民需分担製造品の売上機数> (機)

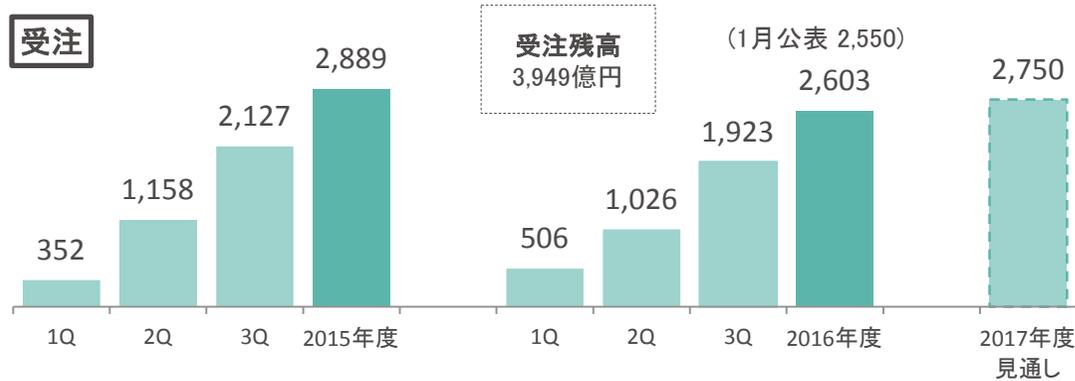
	2015年度	2016年度
Boeing 777	100	91
Boeing 767	19	25
Boeing 787	124	124

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	33.9%	15.1%	5.5%

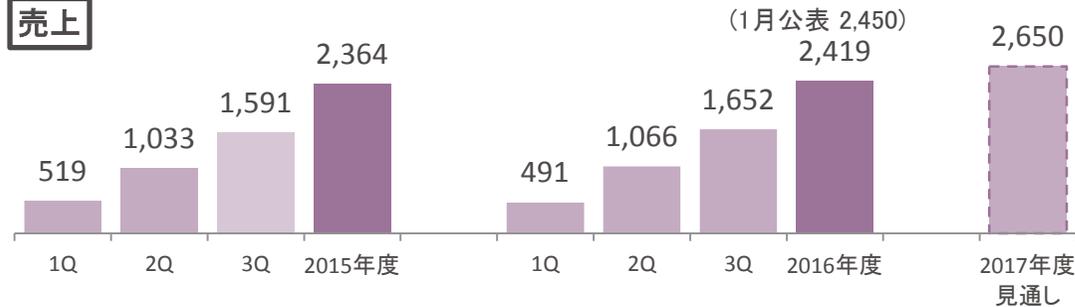
# ガスタービン・機械

主要製品: 航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、ガスエンジン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械 (億円/各期の数値は累計)

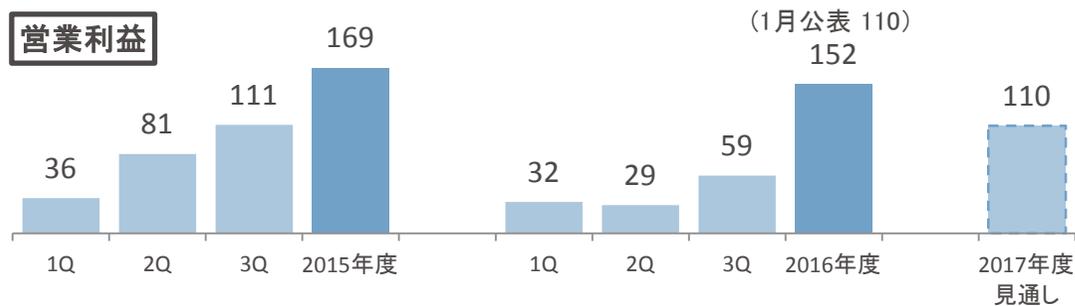
## 受注



## 売上



## 営業利益



## 2016年度実績

(前期比)

### 受注

水力機械、圧縮機等の減少に加え、航空エンジン分担製造品の新規参画プロジェクトを前期に一括受注したこと等により減少

### 売上

円高の影響はあったものの、航空エンジン分担製造品の増加やガスエンジン発電所にかかる工事量増加等により増収

### 営業利益

円高の影響や航空エンジン分担製造品における新規プログラム開発費の償却負担増加等により減益

## 2017年度見通し

(前期比)

### 受注

産業用ガスタービンの増加等により増加

### 売上

航空エンジン分担製造品の増加等により増収

### 営業利益

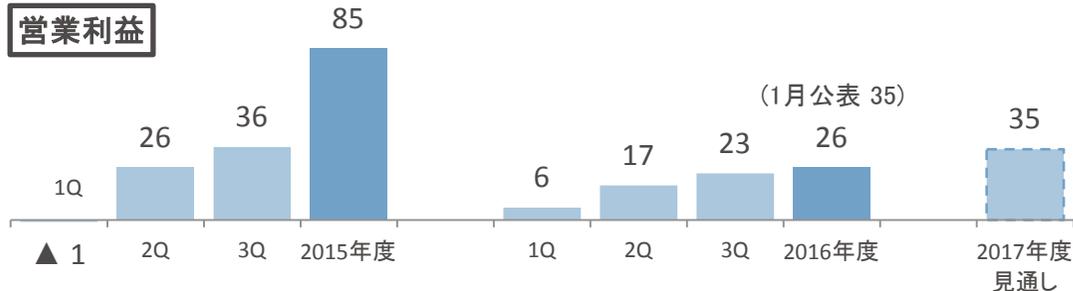
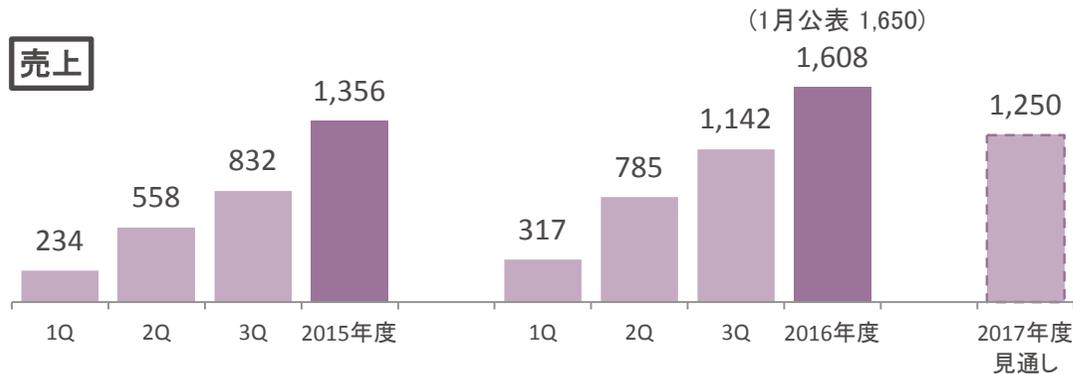
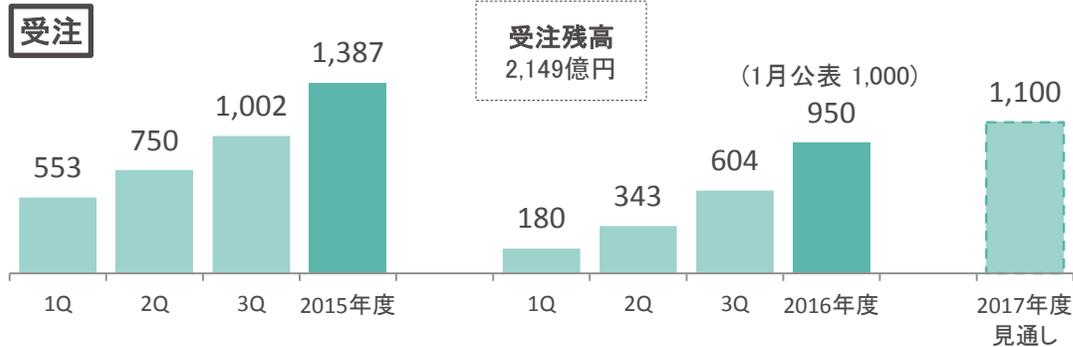
航空エンジン分担製造品の新規プログラム開発費の償却負担増加等により減益

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	8.8%	7.1%	4.9%

# プラント・環境

主要製品： 産業プラント(セメント、肥料等)、発電プラント、LNGタンク、  
ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破碎機

(億円/各期の数値は累計)



## 2016年度実績

(前期比)

- 受注** 国内向けごみ焼却プラントの減少等により減少
- 売上** 海外向け化学プラントの工事量増加等により増収
- 営業利益** 増収があったものの、海外向けLNGタンクでの受注工事損失引当金の繰入れ等により減益

## 2017年度見通し

(前期比)

- 受注** 海外向けプラント等の増加により増加
- 売上** 海外向け化学プラントの減少等により減収
- 営業利益** 海外向けLNGタンクで受注工事損失引当金の繰入れがあった前期に比べ損益は改善するものの、減収により前期並み

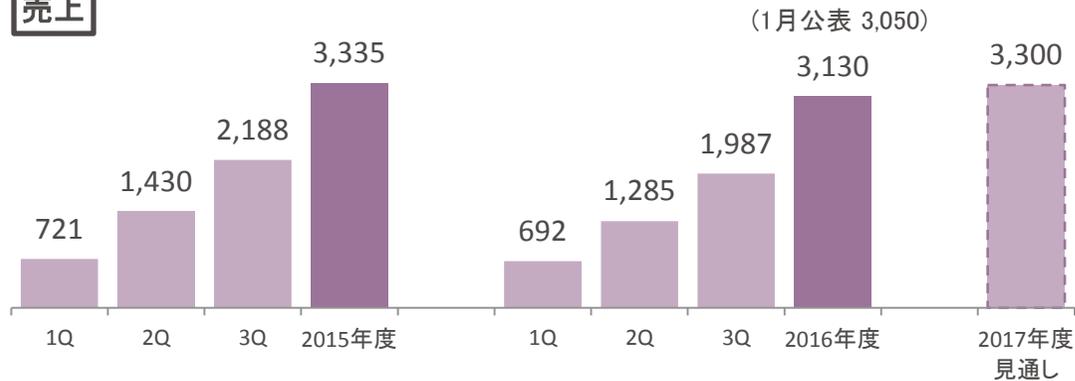
	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	17.5%	8.9%	9.0%

# モーターサイクル&エンジン

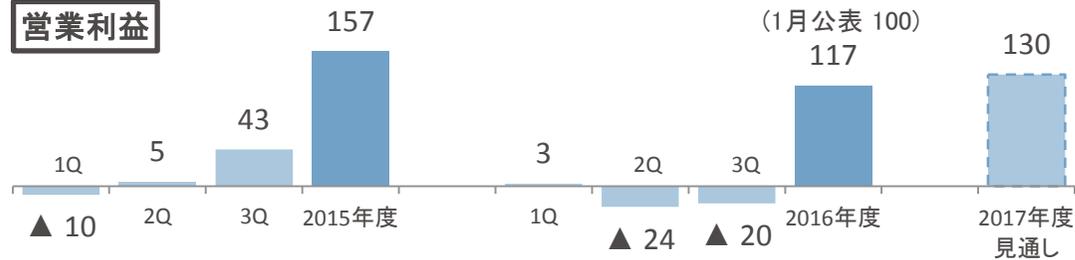
主要製品： 二輪車、多用途四輪車、四輪バギー車(ATV)、  
パーソナルウォータークラフト(PWC)、汎用エンジン

(億円/各期の数値は累計)

## 売上



## 営業利益



<製品別売上(卸売)台数・金額>

(千台、億円)

	2014年度実績		2015年度実績		2016年度実績	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
先進国二輪車	127	1,078	135	1,174	153	1,126
新興国二輪車	396	1,128	328	971	321	869
四輪車・PWC	58	648	61	746	66	733
汎用エンジン		438		444		402
合計	581	3,292	524	3,335	540	3,130

## 2016年度実績

(前期比)

### 売上

先進国向け二輪車や四輪車が増加したものの、円高の影響や汎用エンジン、新興国向け二輪車の減少等により減収

### 営業利益

減収により減益

## 2017年度見通し

(前期比)

### 売上

先進国向け二輪車・四輪車の増加および新興国向け二輪車の回復等により増収

### 営業利益

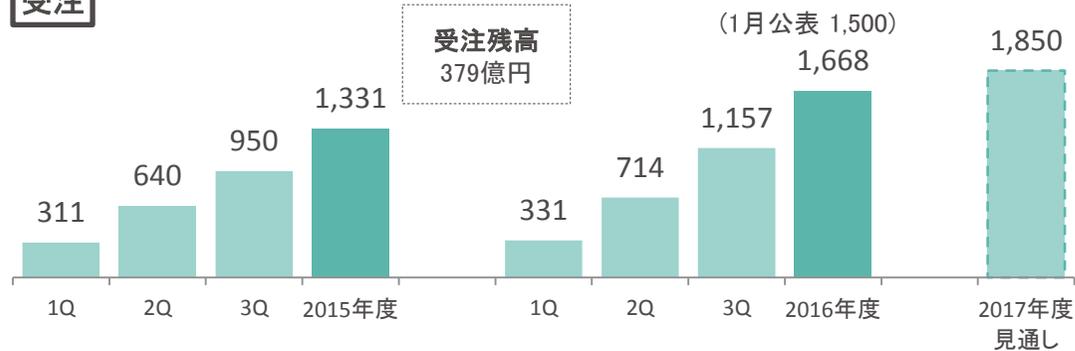
増収により増益

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	14.1%	7.3%	9.5%

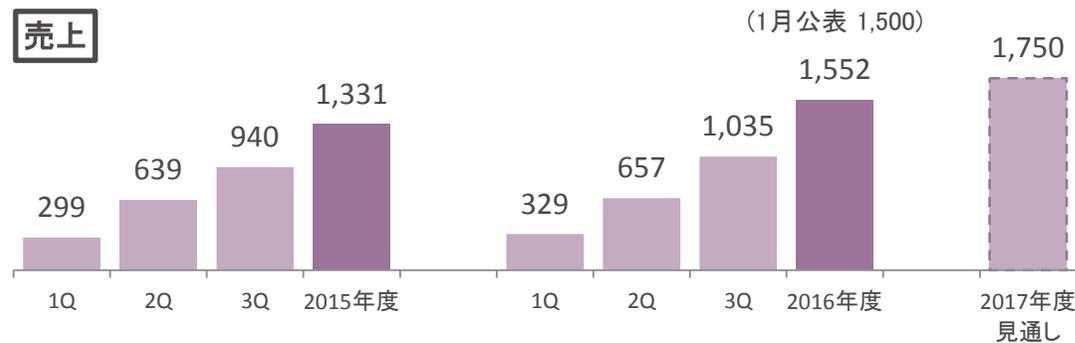
# 精密機械

主要製品： 建設機械用油圧機器、産業機械用油圧機器・装置 (億円/各期の数値は累計)  
 船用舵取機、船用各種甲板機械、産業用ロボット、医薬・医療ロボット

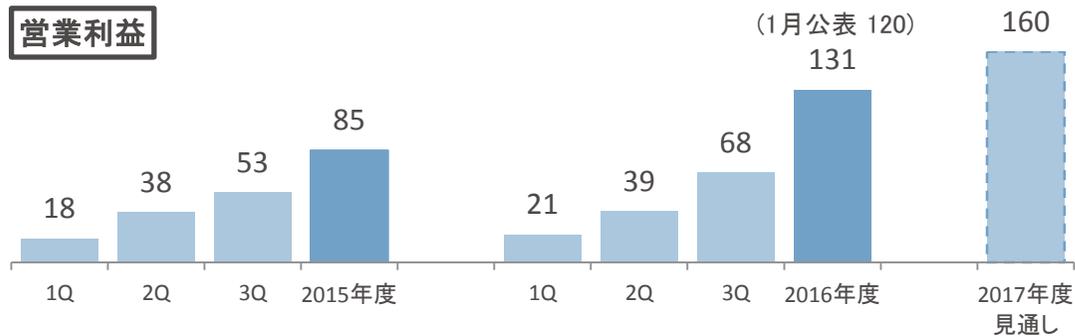
## 受注



## 売上



## 営業利益



## 2016年度実績

(前期比)

**受注・売上** 建設機械市場向け油圧機器や各種産業用ロボットの増加等により増収

**営業利益** 増収により増益

## 2017年度見通し

(前期比)

**受注・売上** 建設機械市場向け油圧機器や各種産業用ロボットの増加等により増収

**営業利益** 増収により増益

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	9.5%	13.4%	15.8%

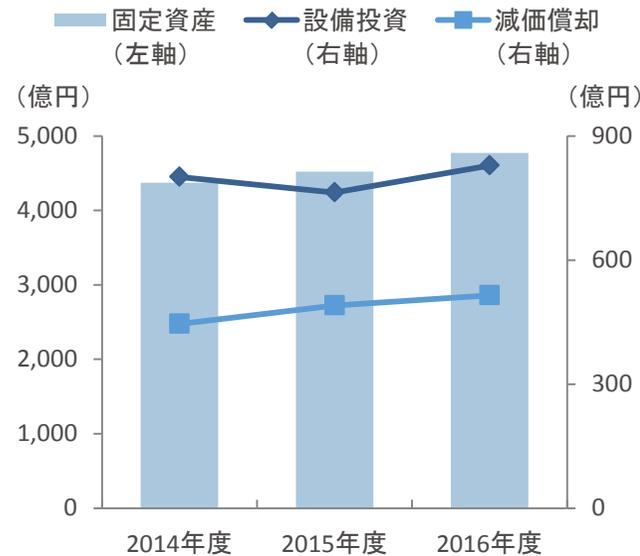
# 貸借対照表の概要

(億円)

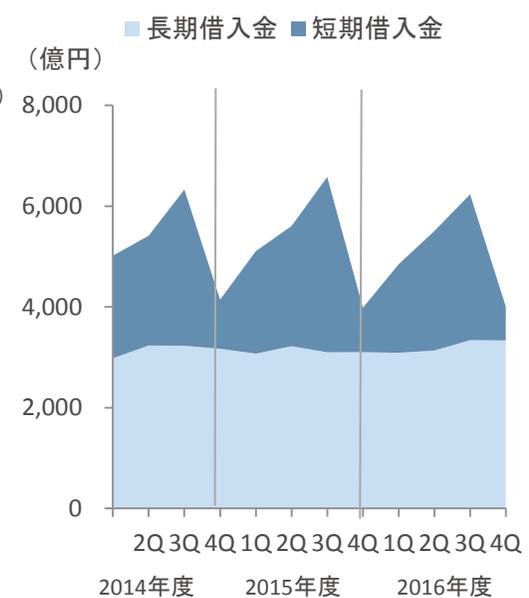
	2015年度末	2016年度末	増減
現預金	421	553	+132
売掛債権	3,813	4,446	+632
棚卸資産	4,929	4,848	▲81
有形・無形固定資産	4,520	4,771	+251
その他資産	2,519	2,253	▲266
資産計	16,204	16,873	+669
買掛債務	3,217	3,420	+202
借入債務	3,984	4,006	+22
前受金	1,704	2,058	+354
その他負債	2,841	2,874	+32
負債計	11,748	12,360	+612
株主資本	4,384	4,462	+78
その他純資産	72	50	▲21
純資産計	4,456	4,513	+57
負債・純資産計	16,204	16,873	+669

自己資本比率	26.6%	25.9%
NET D/Eレシオ	82.5%	78.9%

【設備投資等の推移】



【有利子負債の推移】



【貸借対照表の概況】

当期末の総資産は、売掛債権の増加や設備投資による有形固定資産の増加等により、前期末に比べ増加。  
 負債は、前受金の増加等により増加。  
 純資産は、円高に伴う為替換算調整勘定の減少等はあるものの、利益剰余金の増加等により増加。

# キャッシュ・フローの概要

(億円)

	2015年度	2016年度	増減
営業キャッシュ・フロー	860	935	+74
投資キャッシュ・フロー	▲741	▲648	+93
フリー・キャッシュ・フロー	118	286	+167
財務キャッシュ・フロー	▲234	▲158	+75

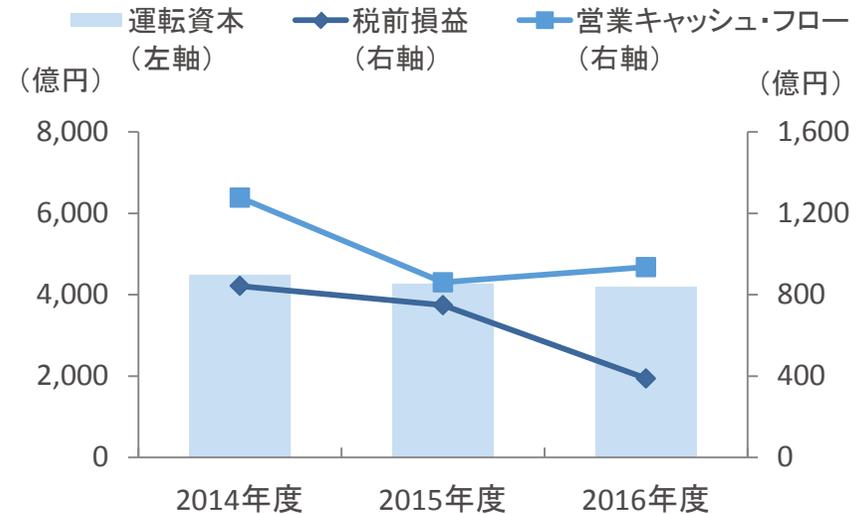
## 【キャッシュ・フローの概況】

営業キャッシュ・フローは、車両の運転資本の減少や精密機械の営業入金  
の増加等により前期に比べ好転。

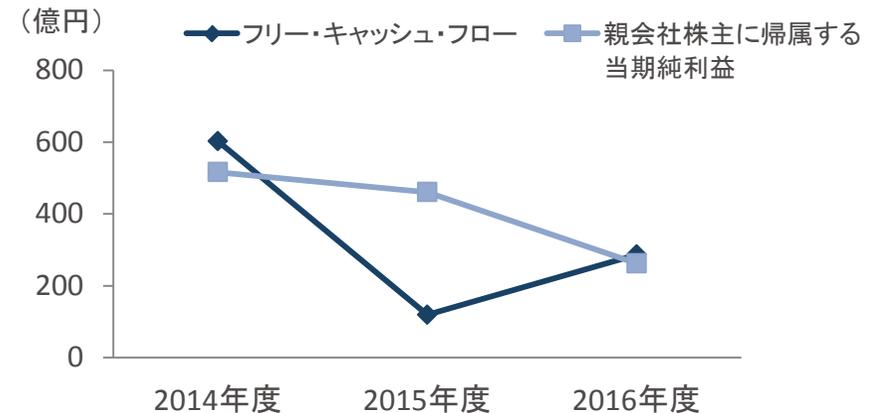
投資キャッシュ・フローは、設備投資支払額の減少等により好転。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは前期に比べ好転。

## 【営業キャッシュ・フロー等の推移】



## 【フリー・キャッシュ・フローと親会社株主に帰属する当期純利益の推移】



# 連結受注高・売上高・利益見通し

(億円)

	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
受注高	13,487	15,600	+2,113
売上高	15,188	15,550	+362
営業利益	459	580	+121
経常利益	366	515	+149
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	360	+98
税前ROIC	5.0%	6.0%	+1.0%
ROE	6.0%	8.0%	+2.0%
配当(1株あたり)	6円	6円	

## 前期比

### 【受注高】

国内・海外向け車両や、航空宇宙の防衛省向けの増加等により増加の見込み

### 【売上高】

プラント・環境の減少はあるものの、ガスタービン・機械や精密機械の増収等により全体では増収の見込み

### 【利益】

航空宇宙の減益の影響はあるものの、前期にオフショア事業で多額の損失を計上した船舶海洋の回復等により増益の見込み

### 【税前ROIC・ROE】

営業利益の増益に伴い、上昇の見込み

実績/前提 レート	ドル (¥/\$)	108.98	108
	ユーロ (¥/EUR)	120.24	114

(参考) 為替影響額

1円の変動による影響額 (億円)

	営業利益	経常利益
ドル	22.1	21.3
ユーロ	2.1	2.5

注) 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

## セグメント別通期業績見通し

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
船舶海洋	369	550	+181	1,032	1,000	▲32	▲214	0	+214
車 両	1,585	1,900	+315	1,371	1,500	+129	34	55	+21
航空宇宙	2,370	3,300	+930	3,299	3,250	▲49	250	130	▲120
ガスタービン・機械	2,603	2,750	+147	2,419	2,650	+231	152	110	▲42
プラント・環境	950	1,100	+150	1,608	1,250	▲358	26	35	+9
モーターサイクル&エンジン	3,130	3,300	+170	3,130	3,300	+170	117	130	+13
精密機械	1,668	1,850	+182	1,552	1,750	+198	131	160	+29
そ の 他	809	850	+41	774	850	+76	31	40	+9
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲70	▲80	▲10
合 計	13,487	15,600	+2,113	15,188	15,550	+362	459	580	+121

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

# セグメント別税前ROIC等の推移

	税前ROIC (税引前利益+支払利息)/投下資本)		
	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
船舶海洋	▲23.4%	0.5%	+23.9%
車 両	3.0%	6.9%	+3.9%
航空宇宙	15.1%	5.5%	▲9.6%
ガスタービン・ 機械	7.1%	4.9%	▲2.2%
プラント・環境	8.9%	9.0%	+0.1%
モーターサイクル& エンジン	7.3%	9.5%	+2.2%
精密機械	13.4%	15.8%	+2.4%
合 計	5.0%	6.0%	+1.0%

営業利益率 (営業利益/売上高)			総資産回転率(倍) (売上高/総資産)		
2016年度 実績	2017年度 見通し	増減	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
▲20.7%	0.0%	+20.7%	0.61	0.57	▲0.04
2.5%	3.6%	+1.1%	0.83	0.88	+0.05
7.5%	4.0%	▲3.5%	0.76	0.74	▲0.02
6.3%	4.1%	▲2.2%	0.69	0.72	+0.03
1.6%	2.8%	+1.2%	1.35	1.02	▲0.33
3.7%	3.9%	+0.2%	1.28	1.37	+0.09
8.4%	9.1%	+0.7%	0.98	1.06	+0.08
3.0%	3.7%	+0.7%	0.88	0.89	+0.01

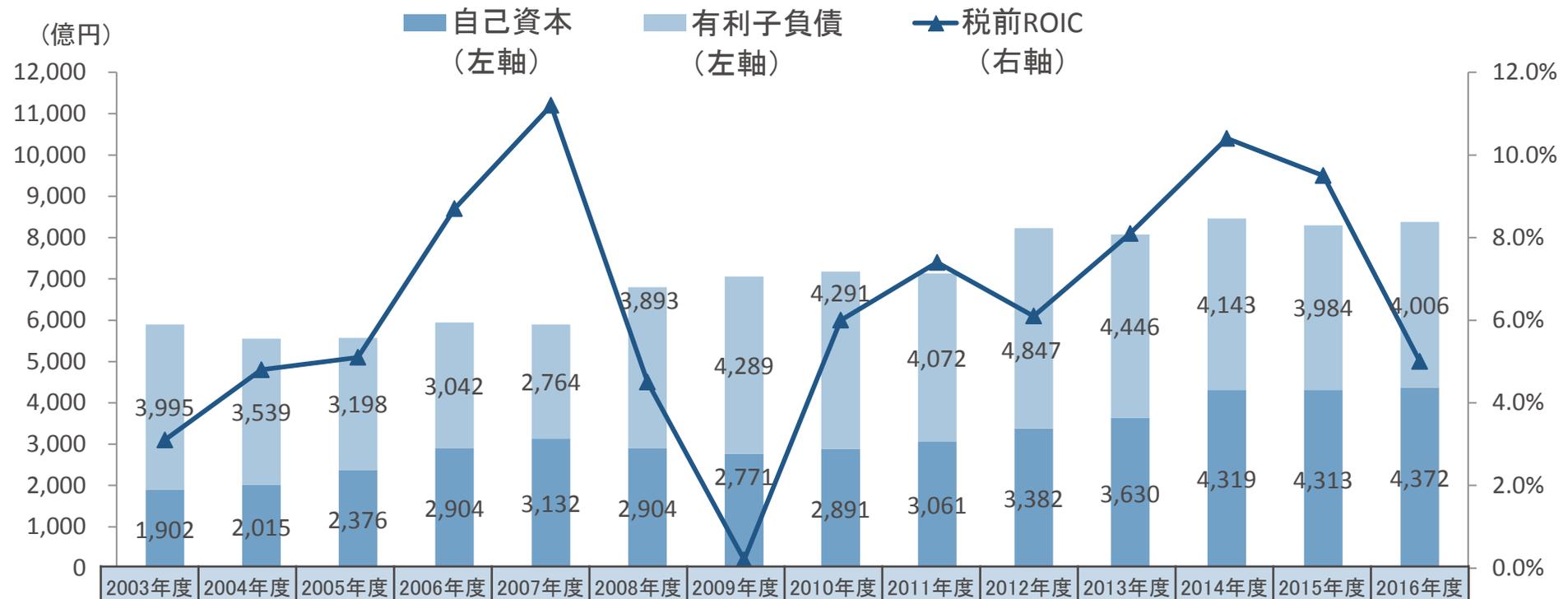
# 研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

		2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 見通し
研究開発費		436	436	480
設備投資		763	827	990
減価償却費		490	515	530
	国内	25,897	26,348	27,300
	海外	8,708	8,779	9,100
期末従業員数		34,605	35,127	36,400

※ 設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

# ヒストリカル・データ



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
税前ROIC	3.1%	4.8%	5.1%	8.7%	11.2%	4.5%	0.2%	6.0%	7.4%	6.1%	8.1%	10.4%	9.4%	5.0%
投下資本	5,896	5,553	5,573	5,946	5,896	6,797	7,059	7,182	7,132	8,228	8,076	8,463	8,297	8,379
売上高	11,602	12,415	13,224	14,386	15,010	13,385	11,734	12,269	13,037	12,888	13,854	14,861	15,410	15,188
営業利益	222	247	417	691	769	287	▲13	426	574	420	723	872	959	459
経常利益	121	210	308	490	639	387	142	491	636	393	606	842	932	366
親会社株主に帰属する当期純利益*	63	114	164	297	351	117	▲108	259	233	308	386	516	460	262

※ 2014年度までは「当期純利益」

為替レート 円/\$	113	108	112	117	115	101	93	86	79	82	99	109	118	108
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

# ROICによるランク付けの推移

(BU数)

ROIC区分		2016年4月時点	2017年4月時点(※)
A	業界トップクラス	7	5
B	企業価値に安定的に貢献	7	11
C	業績変動の低減を図る	11	6
D	投資効率改善を要する	4	4
E	構造改善策の検討・実施	2	4
対象年度		実績:2014~2015年度 計画:2016~2018年度	実績:2015~2016年度 計画:2017~2019年度
実績/前提レート(円/\$)		2014年度 : 109円 2015年度 : 118円 2016~2018年度 : 110円	2015年度 : 118円 2016年度 : 108円 2017~2019年度 : 105円

※ 2016年4月以降、一部BU区分の組替を行ったため、2017年4月時点は組替後のBU数を開示している

# 世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

## ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。